

5/13

5.12 全大阪労学総決起 8000名決起！

米帝のかンボジア侵攻抗議、愛知訪印反対、日米共同声明実質化阻止

明日、全大阪学生総決起(30半教班→6扇町)に起!

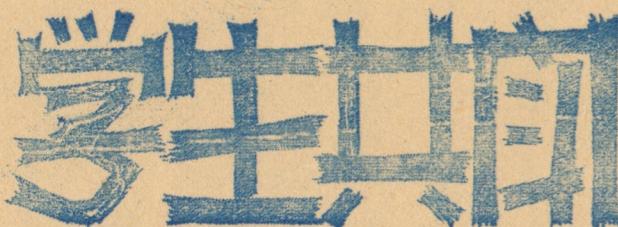
昨日、全大阪労学総決起にハ千の決起を獲ち取る。

全市大の学友諸君ア。ハ千名もの労働者・学生の圧倒的決起を獲ち取った昨日の斗争の意義を再度確認しようではないか。そして、その前に現在のインドネシア情勢についての我々の基本的な視覚を明らかにしたい。南ベトナム民族解放戦線、ラオス民主戦線、柬埔寨インドネシア民族解放戦力など、例の昂揚により、米帝の東南アジアにおける軍事拡張のそつ失、そこからの一方促進された後退を余儀なくされた米帝の主導が、自国内の矛盾にもかかわらず、カンボジアでのロン、ノル政府樹立のためのクーデターを背後からあやつり、またその政権が動搖をきたしてくると、現在のインドネシアの内因的の一時的転換を行なおうとして、カンボジアに対する軍事侵攻、あるいは北に爆弾作戦を行なつてみた。とりわけ、我々が強調せねばならぬことは、この米帝の戦争拡大は、彼等のよつよ、急速に弱体化の過程をたどる者が断末魔において奮闘する、必死のとして絶望的な奮劫に他ならないのであり、まさににそれが彼等の弱さ」の宣言あるのだ。彼等の生折は不可避であることを我々は自らもって言うことがでえさうだつ。次に強調せねばならぬことは、愛知外相ウイドネーテ討伐、アシア会議出席こそ日本帝の王がその独自の論理に従つての帝の王の海外侵出を計り、アシアの盟主として上していかんとする露骨の醉意の表われであり、また昨年の日米共同声明の実質化以外の真物でもない」ということである。まさにアシア会議において積極的にイニシアチブを發揮するなかからアシアに対する政治的地位の上昇をねらうものである。かかる基本的な現実を踏まえと後、昨日の当事の意旨を語るなら、それは米帝の侵攻はもとより、それを支持としつつ展開しようとする曰帝の米動を我々のこの本土における斗争、いの昂揚を武器としつつ阻止していく、そのようすが、あつたのだ。この斗争は、のよう日に曰帝の効向を鋭く洞察し、断固たる決意で彼等を封じこめて、く斗いであつたが故に、まさしくあの4.28斗争の昂揚を継承し、それをより発展させ、6月の安保破壊金口ゼネストの斗争へと直結させていかねばならぬ斗いであつたのだ。

明日、全大阪学生総決起へ決起せよ

全市大の学友諸君ア。昨日のよつよ、斗争の原則的な部隊こそが、唯一二の70年代、反保守、反独占斗争を担うる部隊であるということがますます明白となつてきんだらう。それだけにとどまらず我々は昨日の斗争の実例の力で、十年一日のとく日本の大都市への從属を語り、従つて、その海外進出を、今まで衝動を知りえない、民衆諸君の誤りを断固として批判し、彼等がこの大阪では労働者との連帯を拒否して、セクト的態度を断じて許すことにはできない。また彼等と相互補完物としてある昂揚ハ派の諸君に至る。これは、インドネシア民族解放戦力との連帶の視覚を欠落せばた、め彼等の反帝、反スタの論理は、することができないほど犯罪的であるが故に彼等の内裏を裏露し、それに断固批判していかねばならないのだ。これら左・右の日和見主義を排し、我々は国度原則的な斗争を展開しようではないか。即ち、米帝のカンボジア侵攻抗議、愛知の訪印反対、日米共同声明実質化阻止のストーガンのもと、14日の全大阪学生総決起に立ち上つていこうとはなか!

平和民主主義



5/13